

【めむろ未来ミーティング日程4】

令和4年1月11日（火）

13:30～14:30

坂の上地域福祉館

■参加者 9人

■芽室町 副町長、環境土木課長、政策推進課長補佐（松田）、商工労政課長、商工労政課長補佐、農林課長補佐

■記 録 今森

■対応・検討が必要な事項

①10 線防風林西側の枝払いの件（農林課）

- 1 開会
- 2 副町長挨拶
- 3 町からの説明事項
 - ・ 公共施設等再配置構想について
 - ・ まちなか再生の取り組みについて
 - ・ 3回目コロナワクチン予防接種について
- 4 意見交換

【意見】

新嵐山について。今のターゲットは車を持っている人なのかなと思う。例えばまちなかとの動線をどう繋いでいくのか、構想があればお伺いしたい。

【副町長】

現在、新嵐山を利用される方向けの送迎バスは個別オーダーで対応している。スキー客用に帯広駅と新嵐山を結ぶという取り組みは行っているが、現在それ以外はできていない。

宴会で新嵐山荘を利用される場合、各戸送迎すると白タク行為となってしまうことから、一か所に集合いただき送迎している。

また、上美生と市街地を結ぶコミュニティタクシー事業が今日から始まっている。その中間で新嵐山というのは充分考えられる。もしかすると、帯広市からのオーダーもあるのかもしれない。日々改善しながらやっていきたい。

【意見】

新嵐山について。色々変えていくのは良いと思うが、もう少しスキースクール側と話し合いの場を設けてほしい。現状は壁があるように感じる。

また、改革にかかる費用 14 億円というのは回収できるのか。

【副町長】

スクールと私とで去年の春から数回話し合いを行い、そこでお互い協働歩調をとることで合意を得られた。場所を移転いただいた経過もあるため、その辺りは丁寧にやってきたつもりではある。

実際のスクールの授業や予約方法など、細かい部分についてはまだまだ話し合いが必要。お客様のサービスを充実すべく共通認識を持てるよう、これからも話し合いを続けていく。

次に改革に係る費用の話。新嵐山はキャンプ・宿泊・スキーの大きく3部門ある。キャンプ部門についてはそこまで費用をかけずにできるので直ちにやっている。宿舍も曲がりなりに何とかやっている。リフトはぎりぎりの線で持ち堪えている状況。スキー場をやめない限りリフトは絶対条件であり、いずれ架け替えが必要。これは新嵐山を改革するからということではなく、スキー場として存続するためである。宿舍の方は今のような規模のものを新たに建て直すのは現実的ではない。ご質問にあった何億という数字は仮に建て替えが必要となった場合の試算であり、決定したものではない。

宿舍の方は、今までとは違う層をターゲットとしていくことも必要と感じている。ビジネスの方もいれば、キャンプ場を利用しながらもお風呂は室内の施設を使いたいといった要望もある。

総合計画の中間見直しのように、新嵐山のリニューアルについても見直す時期が来ていると思っている。

リフトもイメージ図の形状に決定しているということではなく、架け替えの際はスキースクールやスキー協会とも十分な話し合いが必要である。コースレイアウトを変えることになるかもしれない。そういった話し合いもしていきたい。

【意見】

スキースクール関係者からの話。新嵐山の支配人は町が出資している会社に雇用されている。話し合いの際は出資元の町も話し合いに入って課題の打開策を考えてもらいたい。

新嵐山は規模的には山というより丘であり、メモロスキー場はトマムやサホロに行く前の練習場という位置づけ。昨シーズンの状況を見ると、食事メニューひとつとっても高すぎるとしか思えない。

スキースクールに行く子どもに1,000円渡しておけば食事含めて1日過ごせるというのが従来のあり方だった。そういった部分も残していただければ。

【副町長】

実情は十分理解している。ただ、変えるところは変えていかなくては、新規のお客様がつかず経営が立ちいかなくなってしまう。ご意見にあったように、今利用されている方々は大事にしなくてはならないと考えている。

【意見】

年配の方から、パークゴルフのコースが半分になってしまったことが残念という話を聞く。芝生の管理が大変だとは思いますが、アップダウンのあるコースなど工夫していただければ楽しめると思う。

芝の管理が大変というのは理解しているが、特に年配の方々は楽しみにしている。

【副町長】

パークゴルフ場に関しては多数のご意見をいただいている。ロケーションのことを考えるとあちらにキャンプ場をもって来ざるを得なかった。

以前は公園という括りで森林組合に芝の管理を委託していたが、現在は直営に変えており、管理が難し

い面もある。パークゴルフ協会とも話し合いながらレイアウトを変えたり障害物を設置するなどしているが、改めて今春に再整理させていただきたい。

【意見】

新嵐山のリニューアル後に食事でも利用させてもらった。季節によっては無理かもしれないが、全て芽室町産の素材を使ったメニューが中心にあっても良いのではないかな。

グランピングの利用者が今どのくらいいるのか分からないが、夏場は新嵐山に行けば芽室の野菜が食べられるようになっていて良い。価格の問題もあるとは思いますが、芽室の野菜を使っていくという気概が欲しい。

いろいろイベントをやっていくのはいいが、施設として町民が利用できる、利用したくなるようなものになっていなくては本末転倒だと思う。

次に道路の件。この辺の農村地域の農道・町道には年間でどのくらいのお金をかけているのか知りたい。

【副町長】

まず新嵐山の件。私も調理スタッフには地元の野菜を使うように、というより全部使わなくては駄目だという前提で話をしている。ただ、一方でコストの問題もある。

調理スタッフからは「地元の野菜を使うと、日が経っても鮮度や味が落ちない。これは絶対に使いたい」という意見が出ている。それをどう表現するかはそれぞれ調理人の個性もある。

いずれにせよ新嵐山改革の1丁目1番地は農業や景観、この地元がメイン。そこは意識しながら今後もやっていきたい。

次に道路の件。年間の予算額としては毎年約2億円。市街地と郊外地で半々くらいなので、約1億円くらいの予算規模で見ている。その使途が舗装のオーバーレイなのか改良なのかは路線によって変わってくるが、大体そのくらいの予算を数年続けている。

平成28年の台風災害の際は業者の方も仕事を受けられないくらいの状態だったため額が落ち込んだものの、ここ3年ほどは持ち直している。ここからど

んどん増やしていくのも難しいところがあるため、まずは最低限は維持しようということをやっている。

【意見】

道路に凹凸や段差があると、作物が傷んでしまうことがある。日々トラクターで通る道も、決して良い状態ではないと感じている。町の産業の中心として農業があり、税収もそうだと思うので、整備をお願いしたい。穴が空いているなら通報で埋めてもらえるが、そういった対応というよりは根本的に綺麗にしてもらいたい。

【副町長】

全体像で行くとどうしても2、4、6、8、10線と南北をある程度優先して整備をしている。どうしても号線は走っていても凹凸を感じる。横の号に関しては何とかしなくてはならないという認識はある。ただ、今の規格をそのまま整備していくのかという点を含めて考えなくてはならない。今ある路盤を生かして上に舗装かけたとしても、結局路盤が薄いので路肩が浮いてしまう。昔は必要だったが不要になったところ、逆に必要になったところもある。一度道道路網という形で整理した方が良く考えている。

【意見】

資料3ページを見て「人が集まる仕掛けづくり」「観光との連携」が課題だと受け止めた。芽室には道の駅がない。それに対して費用がかかるのは理解している。道の駅でなくとも、チャレンジショップを出店できるような広場があると良いのではないかと思う。六次化を目指す農業者や、高齢者が集まって何かできる場があれば、他の町からも「芽室に行けば何かできる」と色々な人が集まる希望の町になると思う。

【副町長】

今まで中心市街地活性化といえば商業集積、商売というのがベースにあった。そうではなく、そこに行く用事がなければ人って集まらない、その用事を役

所ばかりが考えても仕方がない。

箱物ありきで考えるのではなく、どの場所にどういったものがあれば人が動くのか、皆さんと話しをしていかななくてはならない。買い物も必要だが、そこに行きたい用事を作ることが大事。そこで活躍する方々がチャレンジショップだけではなくて、寄り合いの中で何か皆のためにやりたいことを実現できる場があると良い。

これから本格的に町民の皆さんと話し合いの機会を設けるので、ぜひ参加していただければ。

【意見】

10線防風林の件。現在、5号まで枝払いに来ている。5号から11号まで2月中旬までに来るという話は聞いているが、西側の畑に面した方の枝払いはやっていただけるのか。①

【農林課長補佐】

定期的にパトロールをして、低い位置で畑の方に出ているものは対応している。ただ、道路側に出ているものと違い交通の支障になる形ではないので、あまり大規模な枝払いは行っていない。

【意見】

コンバインやスプレイヤーを運転していると、気になるところがある。これまでも何回か枝払いはお願いしている。できないのであれば保全組合の方でやることも申し出たが、町有林なので町で処理するという話になった。そのまま保留のような状態になっているので、具体的な時期などの話ができれば。①

【副町長】

持ち帰り、再整理させていただきたい。先月の強風の倒木も処理中であり、全体の中の順番もある。西側に埋まっている作物によっても入れるかどうかが変わってくる。少しお時間をいただいて回答させていただきたい。

【意見】

町と農協の農業振興計画の策定サイクルがずれている。本来は農協に言うことかもしれないが、歩調を合わせてもらいたい。

【副町長】

農協は5年計画で、町は計画8年計画。町の計画は前後期4年ずつという括り。これは町長の任期に合わせている。町長のマニフェストをこれに入れ込むために4年をひとつの単位としている。

サイクルは合っている方が良いが、しっかり連携を取るようにはしている。どこかのタイミングで農協側が5年を4年にできるのか、町側が4年を5年にできるのかというのもあるので、農協側とも一度再整理させていただきたい。

【意見】

北海道糖業の本別工場閉鎖について。聞いた話では厳しい情勢とのこと。本別で受け入れていた一部が芽室町にという話もあり、芽室町も他人事ではない。心配している人もいる

【副町長】

北海道糖業は本別工場を閉鎖して、周辺で作られているビートをどこに持っていくかという問題は北海道糖業の中で整理されていると認識している。

今それよりも心配なのは畑作構造転換事業の対象から甜菜が外されたということ。そこが違ふ作物になれば良いという単純な話でもない。輪作をいかに維持するかということも考えなくてはならない。当町には日甜があり、そこを意識しながら考えたときに、本当に甜菜を無くしていいのかという話になる。

町のスタンスとしては、今回の国の畑作構造転換事業から甜菜が無くなったことに関しては許せるものではない。後は町だけでなく、様々な団体やメーカー、国会議員含め協同して動かなくてはならない。本件は先日、町長とも相談した。

【意見】

畑作構造転換事業の件は気がかり。大型機械を共同

購入する際などは補助事業がないと厳しいものがある。7,000万円ほどの大型機を10年で分割して現金で買うというのはきつい。補助事業の金額を下げられるのは勿体ない。どう地元で制度を維持していくかが課題。

【副町長】

12月の強風でビニールハウスの被害に遭った方々がビートを直播に切り替えようとしたときにこういった話が出てしまうと、取りやめる判断をしてしまわないか心配。

【意見】

ビニールハウスの価格も昔と比べ高騰している。買い替えて移植栽培で費用を改修できるのかということになるが、それなら直播にしないかという話にもなる。

【意見】

土地改良の話。ここ何年かずっと干ばつが続いている。散水機を以前に導入した方はそれを使っているが、気候も変わり新たな要望が出てくると思う。現在その辺りの動きはどうなっているのか、状況を知りたい。

【副町長】

現在、美生に要望調査が入っている。地区に順番で回ってきており、後は上美生という流れ。今の枠の中の計画でいくと、令和10年くらいに伏古地区の聞き取りが入ってくようなイメージ。

昔は芽室町の中でも5～6地区を一気にやっていた時期もあるが、それでは凸凹が出てしまうので、やはり順番に3～4地区くらいをずっと回ってきている。今は川北が終わって美生にきている。

もう一方で国営の川西に行くものがまだ今動いているため、そことの絡みがどう出るかというのはまた調整が必要だと思う。



14:30 終了